

2006年第2回定例会(9/19~10/13)で、近藤区議が代表質問しました

大規模開発ではなく、区民生活優先の区財政運営に



区長に対面式で初めて質問する近藤区議。
*本議会から、インターネット中継がされています。

7月末から、私たち日本共産党区議団は「新宿区政アンケート」を行ってきました。この中で、「くらしむき」について約6割が「苦しくなった」、「税金や社会保障」については「負担が重い」、「これ以上の負担は耐えられない」と約8割の方が回答されました。また、区政から国政までの問題を自由意見欄には、びっしりと切実なコメントが書かれています。

このような事態の下、新宿区の財政は、05年度まで6年間連続黒字。借金を減らし、溜め込み金である基金を403億円にも増やしています。

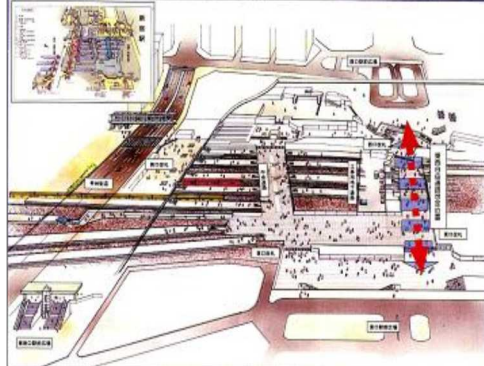
何百億もの大規模開発計画が、本当に区民にとって必要なのか説明しましたか？
区民生活を支える施策を！
例えば、いまや区民の切実な願いになっている小中学生の医療費無料化は約5億円あればできます。23区のなかでも18区が実施している。実施に区長の英断を、と求めました。

【区長】その内容は、外来・入院併せて実施が8区、入院のみが10区と様々です。
新宿区では「子育てにかかる経済的支援策について」の検討を・重ねた結果、平成18年4月から中学生までの児童手当の支給を開始し、個々の家庭で医療費や教育費など異なるニーズに対応できる支援策として、区民の皆様から評価を頂いています。

さらに、国においても、医療費制度改革・児童手当の増額等新たな少子化対策が検討されています。今後国や都の状況を見ながら、限られた財源の効果的な活用を検討していきたいと考えています。この回答です。

◆小中学生の医療費無料化での変化◆

実施していない5区のうち、**世田谷区**では、区長が今年の12月1日から中学生3年生まで通院・入院の完全無料化をするための「条例案」を出し、29日の本会議で可決される見込みです。**荒川区**でも、区長が「対象年齢拡大に一步踏み出す」と議会で答弁。変化が生まれています。



↑東西自由通路を含めたJR新宿駅の将来図案

東西自由通路だけでも数十億？
ところが、区が関与した新宿駅周辺の大規模開発が動き始めています。
JR新宿駅を横断する「東西自由通路」整備に総事業費120億円かかる可能性がでてきました。そこで、
①事業費や費用負担の中身等はいっ明らかにし、区民に意見は聞くのか
②事業をやめることも検討すべき、と追求しました。
しかし区長は、①JR東日本が、本事業に伴い駅の改良工事を含め想定したため、総事業費が増加している。極力、区の費用負担を抑制する方向で調整し、実現したい、と答弁しましたが、区民に明らかにする時期については明言しませんでした。
②「新宿の都市基盤整備に欠かせない」「ぜひとも実現すべき」と回答しています。

「子どもも高齢者も輝く新宿へ」

こんにちは
日本共産党新宿区議会議員
近藤なつ子です



No.97 2006.9.30 発行：日本共産党新宿区議団
区議団控室：TEL5273-3551、Fax3200-1474
TEL 090-4849-3227、Fax3200-5163
e-mail : natsuko_kon86@muf.biglobe.ne.jp
HP : http://www5e.biglobe.ne.jp/~natsu86/

無料 近藤なつ子事務所の
くらし・法律相談
10月10日(火)
午後7時～8時の予定
※事前に必ずご予約ください
◇その他いつでもお気軽にご相談ください

区政報告会 **10月7日**
午後3時半～5時
若松地域センター3F・ホールにて
お話 **近藤なつ子、大山とも子**
ぜひご参加ください!